



平成22年
2010.03.15

No.1170

デザインは平松 桐さん(永木町一丁目)

広報

発行：松山市役所／編集・総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎948-6705・☎934-2578・http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



新聞「日本」の創刊号
(明治22年2月11日発行)

明治期のジャーナリズムを



▲子規が使用していた
シャープペンシル(勸子規庵保存会所蔵)
(展示期間～3月31日
および10月～平成23年2月下旬(予定))

坂の上の雲ミュージアムでは、日露戦争を明治時代のジャーナリズムの視点からとらえた、第4回企画展「日露戦争と明治のジャーナリズム」を開催しています。ぜひご来館ください。

第4回企画展 テーマ展示

「新聞『日本』と子規」開催

日露戦争と明治のジャーナリズム1

保存していただく。いつかまた お役に立ちます

小説の主人公でもあり、日本新聞社の記者として生涯を終えた正岡子規をはじめ、この新聞にかかわりを持つ人たちに焦点を当てます。また俳句・短歌の革新のみならず文章日本語の形成において子規が果たした重要な役割や、開戦期を中心とした内外の報道記事を通して、世界が当時、日露

戦争をどのようにとらえていたかなどを展示しています。
【開催】平成23年2月下旬まで
【場所】坂の上の雲ミュージアム(一番町三丁目)
【時間】9時～18時30分(入館は18時まで)



日露戦争期に日本新聞社が発行したグラフィック



当時の日本新聞社の編集室内を再現



日本新聞社の記者として生涯を終えた正岡子規

お問い合わせは、坂の上の雲ミュージアム ☎915 2600・☎915 3600へ



日本新聞社社員の集合写真
明治29年ごろ撮影(弘前市立郷土文学館所蔵)

- 展示内容**
- 新聞「日本」の時代
 - 新聞「日本」の誕生
 - 日本新聞社の人々(新聞社編集室内を一部再現)
 - 子規の文章語革新
 - 新聞「日本」の報道
 - 日露戦争とジャーナリズム
 - 日露開戦へ(戦争と新聞報道)
 - 日露開戦(各国の報道と取材)



坂の上の雲ミュージアム

読者プレゼント

ノッチさんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 広報課「ノッチプレゼント」係
はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、3月29日(月)(消印有効)までにお送りください。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

「第48回愛媛マラソン」にゲストランナーとして出場のため本市を訪れたノッチさんにお聞きしました。

■松山の思い出は
松山で高校生活を過ごしました。陸上部に所属していたので、松山市街地から北条地区の間を走ることもありました。スポーツを通じて、松山の皆さんからいろいろな力をいただきました。

■マラソンの魅力は
走るというのは誰でも気軽に始められ、長く続けられるスポーツです。単純ですがとても楽しいですよ。

■マラソン以外の趣味は
バイクと釣りです。北条地区の海岸線は景色が素晴らしいので、釣りには必ず釣りにも行きます。

マラソンのように長く芸人を続けたい

「お笑い芸人を志した理由は、高校の陸上部で休憩時間などに、先生の物まねをして部員たちを笑わせ、面白いと言われたのがきっかけです。お笑いを通じて愛媛マラソンに招待され、松山で走ることができて幸せです。」

■芸人としての目標は
フルマラソンのレースのように、お笑い芸人を長く続けたいと思っています。

■市民へのメッセージ
10年ぐらい前に母校の高校に呼んでいただいたとき、生徒たちに「夢を持って頑張っていれば、いいことがある」という話をしました。これからの夢を持つことの大切さを、笑いと一緒に伝えていきたいと思っています。

松山

こんにちは

お笑い芸人
ノッチさん

本名：佐藤望。1965年生まれ。新居浜市出身。松山聖陵高卒。1988年漫才コンビ「デンジャラス」結成。オバマ米大統領の物まねで人気。中学時代に県陸上大会の中距離種目で優勝。第48回愛媛マラソンにゲストランナーとして出場。

市花ツバキシリーズ⑩「中枇白」

花は、白色の一重、筒状、伏咲きの中輪。樹勢は、立性で強い。花期は、11～3月。愛知県原産。

主な内容

- ◎松山春まつり「お城まつり」開催 ……12面
- ◆高額なごみ処理料金の請求に注意 ……2面
- ◆特集「国民年金」 ……4・5面
- ◆市民ガイド ……7～11面